

文の京ゆかりの文化人顕彰事業 関連事業案内・参加者募集

◎文化資源担当室(文京ふるさと歴史館)

史跡めぐり「賢治・啄木が暮らした町をたどる(仮)」

日時・ルート等が決まりましたら、区報等で募集します。

特別展「湯島の地に聖堂ありー江戸・東京の学び舎と文京一」

「第20回全国藩校サミット文京大会」関連事業として、令和4年に国史跡指定100周年を迎えた文京区のランドマークの一つである湯島聖堂の歴史や文化などを紹介します。

会 期：令和5年10月28日(土)～12月10日(日)

会 場：文京ふるさと歴史館 地下1階企画展示室

入場料：100円(20人以上の団体70円)

※11月3日(金・祝)は無料公開日

問合せ：文京ふるさと歴史館
〒113-0033 東京都文京区本郷4-9-29

TEL 03-3818-7221

開館時間：10時～17時

入館料：100円

休 館 日：月曜(祝日の場合は翌日)、第4火曜日(11/21、2/27は開館)、12/26～1/4

※中学生以下・65歳以上・友の会会員、身体障害者手帳等提示の方と介護者1人は入館料無料

令和5年7月から10月にかけて、館内トイレ洋式化工事を行います。工事期間中は別フロアのトイレをご使用いただく期間がございます。工事に伴う臨時休館や工事音などご不便をおかけしますが、ご理解・ご協力くださいますよう、お願い申し上げます。詳細は区ホームページでお知らせいたします。

朗読コンテスト(主催：文京区 主管：跡見学園女子大学)

日 時：令和5年11月5日(日) 13時～16時

会 場：跡見学園女子大学プロッサムホール(文京区大塚1-5-2)

課題作：宮沢賢治の作品

参加者・観覧者募集等詳細は、ホームページ等でお知らせします。

問合せ：跡見学園女子大学文京キャンパス事務局

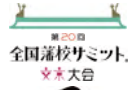
朗読コンテスト係

[E-mail] d-chiiki@atomi.ac.jp

◎アカデミー推進課文化事業係

第20回 全国藩校サミット文京大会

「全国藩校サミット」は、各地域に息づいている藩校の伝統や精神を現代の視点で見直しで評価し、生かしていこうという趣旨で、2002年(平成14年)から毎年、各藩校所在地で開催されています。第20回の節目を迎える今年は、全国藩校サミットの初開催地である文京区で、11月18日(土)に開催を予定しています。詳細については、ホームページ等でお知らせします。



全国藩校サミット文京大会
公式キャラクター「ゆしまる」

令和5年度文京区企画展

「ぶんきょうの学び舎展～昌平学問所が未来に紡ぐもの～」

全国藩校サミット文京大会の記念事業として、展示を行います。

日 時：令和5年11月14日(火)～21日(火) 10:00～18:00

会 場：文京シビックセンター1階 ギャラリーシビック

入場料：無料

文京ミュージアムネット周遊デジタルカードラリー

全国藩校サミット文京大会の記念事業として、文の京ミュージアムネットワークに加入している施設をめぐるデジタルカードラリーを行います。

開催日：令和5年7月1日(土)～8月31日(木)

会 場：文の京ミュージアムネットワーク加入施設

問合せ：アカデミー推進課文化事業係

〒112-8555 文京区春日1-16-21

TEL 03-5803-1120

▼区HP



文の京ゆかりの文化人顕彰事業 関連事業案内・参加者募集

◎森鷗外記念館

7月中は鷗外遺書の原資料を展示

鷗外忌を記念して、常設コーナーにて展示します。

会 期：令和5年7月1日(土)～7月31日(月)

休館日：7/10～13、7/24・25

観覧料：600円(特別展期間7/1～9)/300円(コレクション展期間7/14～31)

●7月9日(日)は鷗外忌

当日は9時から開館し、展覧会を観覧された方にオリジナルしおりをプレゼント。

コレクション展「生誕120年 森茉莉 ～幸福な日々、書くという幸福～」

明治36(1903)年に観潮楼(現・文京区立森鷗外記念館)で生まれ、今年生誕120年の森茉莉に焦点をあて、当館所蔵資料を展示紹介します。

会 期：令和5年7月14日(金)～10月1日(日)

休館日：7/24・25、8/21・22、9/25・26

観覧料：300円(20人以上の団体240円)



12歳頃の茉莉

特別展「千駄木の鷗外と漱石(仮称)」

夏目漱石は明治36(1903)年から約4年、千駄木に暮らしました。

二大文豪と並び称される鷗外と漱石、二人の接点や交流を振り返ります。

会 期：令和5年10月7日(土)～令和6年1月14日(日)

休館日：10/24、11/28、12/26～1/3

観覧料：600円(20人以上の団体480円)

※11/1の開館記念日は、展覧会観覧者全員にポストカードをプレゼント。



漱石が鷗外に進呈した
自著「彼岸過迄」扉紙

コレクション展「長原孝太郎生誕160年・近所のアトリエ(仮称)」

東京美術学校で教鞭をとった洋画家・長原孝太郎(止水)の、本郷・動坂にあったアトリエや鷗外との関係を探ります。

会 期：令和6年1月19日(金)～3月31日(日)

休館日：1/22・23、2/26～28、3/25・26

観覧料：300円(20人以上の団体240円) ※1/19の鷗外誕生日は無料観覧日です。

問合せ：文京区立森鷗外記念館

〒113-0022 東京都文京区千駄木1-23-4

TEL 03-3824-5511 <https://morigai-kinenkan.jp>

開館時間：10時～18時(最終入館17時30分)

※中学生以下、障害者手帳提示の方と介護者1人は観覧料無料

※ふるさと歴史館・森鷗外記念館 相互割引のお知らせ(入館1回につき1回限り)

●歴史館入館券、友の会会員証、歴史館パンフレット(押印あり)提示

→ 森鷗外記念館観覧料が2割引

●森鷗外記念館入館券、鷗外バス提示 → 歴史館の入館料が団体料金適用

令和5年度 文の京ゆかりの文化人顕彰事業

令和5年(2023)7月7日発行

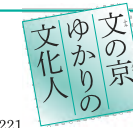
編集・発行：文京区アカデミー推進部アカデミー推進課

文化資源担当室(文京ふるさと歴史館)

〒113-0033 東京都文京区本郷4-9-29 TEL 03-3818-7221

<https://www.city.bunkyo.lg.jp/bunka/kanko/spot/museum/rekishikan>

印刷物番号 D0123002



さまざまな分野の文化人が足跡を残した地・文京。ゆかりの文化人を顕彰し、文京区の多様な文化的資源を広く発信します。今年度は、友好都市提携締結から5周年を迎える岩手県盛岡市と文京区の双方にゆかりのある新渡戸稲造・宮沢賢治・石川啄木を顕彰します。また、植物学者牧野富太郎を顕彰します。

【令和5年度】



「岩手県盛岡市・文京区友好都市提携締結5周年」

文京区は平成31年2月20日、岩手県盛岡市と友好都市提携を結びました。令和5年度は友好都市提携締結5周年に当たります。

石川啄木が岩手県盛岡市日戸(旧南岩手郡日戸村)で生誕し、文京区小石川で没した縁から、両都市は平成23年に「災害時における相互応援に関する協定」、平成24年に「地域文化交流に関する協定」を締結しました。

そして平成31年、石川啄木生誕の日である2月20日に、教育文化、スポーツ、産業等の交流を促進することにより、両都市の住民相互の理解と友情を深め、持続的な友好が図られることを願ひ、友好都市として提携しました。現在、文京区内には啄木終焉の地に隣接した場所に歌碑と顕彰室が設置されているほか、例年、盛岡市と協力して啄木学級及びびんき踊り体験ワークショップを開催するなど、継続的に交流を行っています。

「令和5年に記念の年を迎える主なゆかりの文化人」

泉鏡花	小説家	[1873-1939]	生誕150年
伊藤圭介	植物学者	[1803-1901]	生誕220年
伊藤左千夫	小説家	[1864-1913]	没後110年
伊藤野枝	評論家・社会運動家	[1895-1923]	没後100年
荻野吟子	医師	[1851-1913]	没後110年
北里柴三郎	医学者	[1853-1931]	生誕170年
金田一春彦	言語学者	[1913-2004]	生誕110年
佐佐木信綱	歌人・国文学者	[1872-1963]	没後60年
サトウハチロー	詩人・小説家	[1903-1973]	生誕120年 没後50年
白井光太郎	植物学者	[1863-1932]	生誕160年
高村光太郎	彫刻家・詩人	[1883-1956]	生誕140年
知里幸恵	アイヌ文化伝承者	[1903-1922]	生誕120年
坪井正五郎	人類学者	[1863-1913]	生誕160年 没後110年
徳田秋聲	小説家	[1871-1943]	没後80年
新渡戸稲造	農政学者・教育者	[1862-1933]	没後90年
林美美子	小説家	[1903-1951]	生誕120年
尾藤二州	儒学者	[1747-1813]	没後210年
宮沢賢治	詩人・童話作家	[1896-1933]	没後90年
森茉莉	小説家・随筆家	[1903-1987]	生誕120年



牧野富太郎



新渡戸稲造



宮沢賢治



石川啄木

牧野富太郎

生誕161年

【まきのとみたろう】(1862~1957)
植物学者



植物学教室勤務当時の牧野富太郎
(東京大学大学院理学系研究科附属植物園蔵)

●独学による植物分類学の権威

牧野富太郎は文久2年(1862)、土佐国高岡郡佐川村(現在の高知県佐川町)で造り酒屋を営む家に生誕しました。明治17年(1884)に22歳で東京大学(後に帝国大学、更に東京帝国大学と改称した、現在の東京大学)植物学教室の矢田部良吉の取計らいで植物学教室への出入りを許され、本格的な研究活動に入りました。その後の諸事情により一時、植物学教室への出入りを禁じられるも明治26年、31歳で東京帝国大学理科大学の助手に採用され、そして50歳となった明治45年(1912)から77歳までの昭和14年(1939)にかけて講師を務めました。

昭和2年(1927)、東京帝国大学に提出した「日本植物考察」により理学博士号を授与されました。牧野は幕末期に郷里の寺子屋と藩校・名教館で学んだ以外の学校教育をほとんど受けず、独学により植物学を修めています。現在では牧野のような学歴で博士号を受ける事は異例ですが、これは生涯でおよそ1500種類を超える植物を命名した世界的な実績が評価の対象として挙げられます。分類学に関する知識や経験が遺憾なく発揮されたものに「牧野日本植物図鑑」を始めとする複数の植物図鑑の編著書刊行なども挙げられます。

余談ながら作家の山本周五郎が牧野に対談取材した際、「雑草」という言葉を口にした山本に対して「全ての植物は名前を持ち、雑草などという名の植物は存在しない」と諷めた逸話は有名です。

帝国大学勤務当時、大正8年(1919)までの間、区内の複数の場所に居住した文京ゆかりの文化人の一人です。終の棲家となった練馬区の自宅跡は東京都の名勝及び史跡に指定され、「練馬区立牧野記念庭園」として公開されています。牧野が収集した標本類が寄贈された東京都立大学には「牧野標本館」が設置され、高知県には「県立牧野植物園」と、その敷地内に「牧野富太郎記念館」が設けられ、蔵書類や遺品類が保管されています。また郷里の佐川町には、遺品類などを紹介する「牧野富太郎ふるさと館」や「牧野公園」も整備されています。昭和12年(1937)には朝日文化賞を受賞、同26年には文化功労者として表彰されています。同28年には東京都名誉都民、同31年には佐川町名誉町民となりました。昭和32年(1957)に東京都内で逝去し、没後、文化勲章を受章しています。



牧野富太郎画
「日本植物図鑑」(個人蔵)

新渡戸稲造

没後90年

【にわたるいねぞう】(1869~1959)
農政学者・教育者



新渡戸稲造(文京ふるさと歴史館蔵)

文久2年、陸奥国岩手郡盛岡城下(現・岩手県盛岡市)に生まれました。代表作に『武士道』(英文明治31年、邦訳明治41年)などがあります。明治4年に上京、東京英語学校、札幌農学校を経て、同17年に東京帝国大学文科大学に入学しました。文科大学入学時には、「太平洋の橋になりたい」と語ったと伝えられています。同年からアメリカ、ドイツへ留学、帰国後は札幌農学校、京都帝国大学法科大学で教鞭を取るかわら、台湾総督府で商品作物の普及に尽力し、台湾経済の発展に寄与しました。明治32年農学博士、同39年法学博士となりました。同年、第一高等学校校長、同42年、東京帝国大学法科大学教授に就任。始め小石川区原町に居住し、新居が完成した明治41年に同区小日向台町(現・小日向二)に移りました。この家は「ニトベ・ハウス」と称され、終の棲家となりました。大正9年、日本代表として国際連盟事務局次長に就任し、同15年には貴族院議員に任じられました。昭和8年、太平洋会議出席のために外遊中のカナダで、72歳で逝去しました。

●教育者、新渡戸稲造

明治39年10月、就任直後に辞任した今村有隣の後を受けて、第一高等学校の校長に就任しました。「忠君愛国」「自由に伸ばす」「品行よりも品格」の三つを主な精神とし、「ソシアリティー」主義を唱えて校風の刷新を図り、多くの生徒に影響を与えました。また本郷の学校近くに「面会の家」を借り、生徒との懇談に用いたとも伝えられています。一高を離れるにあたり大正2年5月1日におこなわれた新旧校長迎送会の際には、本郷区向ヶ岡の一高から小日向台町の新渡戸邸まで、500人以上の生徒が同行して別れを惜しんだと伝えられています。

大正6年、東京女子大学の初代学長、東洋協会植民専門学校(現・拓殖大学)二代学監に、昭和3年、本郷区元町に新設された女子経済専門学校(現・新渡戸文化学院)の校長に就任し、多くの学生を導きました。

文京区とのゆかり

年代	西暦	年齢	事項
明治17年	1884	23歳	帝国大学文科大学入学
明治37年	1904	43歳	小石川区小日向台町一丁目に住居を入手
明治39年	1906	45歳	第一高等学校校長・農科大学教授に就任
明治42年	1909	48歳	小日向台町に新居が完成
昭和3年	1928	67歳	本郷区元町の女子経済専門学校校長に就任

宮沢賢治

没後90年

【みやざわけんじ】(1896~1922)
詩人 童話作家



宮沢賢治(国立国会図書館 近代日本人の肖像)

明治29年、岩手県稗貫郡里川口村川口町(現・岩手県花巻市)に生まれました。県立盛岡中学校、盛岡高等農林学校農学科第二部を卒業後、大正10年12月郡立稗貫農学校教諭となり、農業指導のかたわら、詩や童話を創作しました。何度か上京した際には、現在の文京区目白台、本郷、湯島等に滞在しました。

大正13年には『春と修羅』『注文の多い料理店』を出版しました。昭和8年、花巻にて37歳で逝去しました。

石川啄木

没後111年

【いしかわたくぼく】(1886~1912)
歌人 詩人 小説家



石川啄木(国立国会図書館 近代日本人の肖像)

明治19年、岩手県南岩手郡日戸村常光寺(現・岩手県盛岡市)に生まれました。いく度かの上京・帰郷、北海道各地への移転をくりかえすなかで、文京区には、現在の音羽、弥生、本郷で暮らし、小石川で終焉を迎えました。平成27年3月、文京区は石川啄木終焉の地の隣接地に「石川啄木終焉の地歌碑」及び「石川啄木顕彰室」を設置し、啄木の業績を画像やパネル、年表等で紹介しています。

人物	施設	住所	TEL
牧野富太郎	■東京大学大学院理学系研究科附属植物園(小石川植物園)	文京区白山3-7-1	https://koishikawa-bg.jp
	■練馬区立牧野記念庭園	練馬区東大泉6-34-4	TEL 03-6904-6403
	■東京都立大学牧野標本館	八王子市南大沢1-1	https://www.biol.se.tmu.ac.jp/herbarium/
新渡戸稲造	■高知県立牧野植物園	高知県高知市五台山4200-6	TEL 088-882-2601
	■牧野富太郎ふるさと館	高知県高岡郡佐川町甲1485	TEL 0889-20-9800
	■盛岡市先人記念館(新渡戸稲造記念室)	岩手県盛岡市本宮字乾屋敷2-2	TEL 019-659-3338
宮沢 賢治	■花巻新渡戸記念館	岩手県花巻市高松1地割21番地	TEL 0198-31-2120
	■宮沢賢治記念館	岩手県花巻市矢沢1地割1番地36	TEL 0198-31-2319
	■宮沢賢治童話村	岩手県花巻市高松第26地割19番地	TEL 0198-31-2211
石川 啄木	■宮沢賢治イートアップ館	岩手県花巻市高松第1地割1番地1	TEL 0198-31-2116
	■石川啄木終焉の地歌碑・顕彰室	文京区小石川5-11-8	連絡先:文京区アカデミー推進課観光担当 TEL 03-5803-1174
	■文京区立小石川図書館(石川啄木コーナー)	文京区小石川5-9-20	TEL 03-3814-6745
	■石川啄木記念館	岩手県盛岡市洪民字洪民9	TEL 019-683-2315
	■啄木新婚の家	岩手県盛岡市中央通3-17-18	TEL 019-624-2193
宮沢 賢治 石川 啄木	■もりおか啄木・賢治青春館	岩手県盛岡市中ノ橋通1-1・25	TEL 019-604-8900

公開時間や休館日などは、それぞれ施設にお問い合わせください。